

育てよう 鏡野のよい子シリーズ



「ムダはない」

人間の能力は、大きく「認知能力」と「非認知能力」の二種類に分けられる。「認知能力」とは、点数など数値化できる知的能力のことである。一方「非認知能力」とは、テストなどで数値化することが難しい内面的なスキルを指す。テストなどで数値化されにくい能力は、幅広く非認知能力に位置づけられるため、一例を挙げると(※表Ⅰ)のようになる。

※表Ⅰ：非認知能力の一例

非認知能力の名前	具体的な能力
自己認識	やり抜く力、自己肯定感
意欲	学習志向力、やる気
忍耐力	粘り強く頑張る力
セルフコントロール	自制心、精神力
メタ認知	客観的思考力、判断力
社会的能力	リーダーシップ、協調性
対応力	失敗から学ぶ力、応用力
クリエイティビティ	創造力、工夫する力

先日、学生野球の資格回復が認められたイチロー選手が、「ムダなことから学ぶことが多い」と言っていた。一見、ムダなことはする必要はないと思うが、何がムダなのかはやつ

てみないと分からない。そして、ムダなことをするためには、非認知能力の具体的な能力の多くが求められる。その中で、やれといわれたことだけでなく自分で考えてこそ、合理的になれる。また、学校活動の中で、他学年と一緒に切磋琢磨する機会は限られている。

将来、子どもたちは同級生ばかりと働くことはなく、必ず先輩後輩や上司部下の関係で年代の違う人と関わることになるだろう。だからこそ、教室での授業だけではなく、学年を越えた人との活動(部活動や社会体育、ボランティアなど)を経験し、非認知能力を高めてほしい。今後、目まぐるしく変わる社会で生きていくために。この写真のように一体感を作るのもムダではないだろう。



鏡野町生徒指導推進連絡協議会
鏡野町立鏡野中学校 百々 直人

のびのびひろば

(鶴喜保育園)

いきものとのふれあい

子どもたちは草の間や鉢植えの下、葉っぱの裏など、いろいろなところで生き物を見つけます。じっと見たり、チョンチョンと触ったり、飼育ケースに入れて図鑑で調べたり。また、保育園にはウサギやカメがいて、5歳児になるとウサギ小屋の掃除をするなどお世話をします。子どもたちは、ウサギの口元にニンジン差し出し、食べてくれると「たべた!」と嬉しそう。生き物と関わるうちに、命の不思議さや尊さに気づき、優しさや大切にすることを学んでいます。

お家の方、エサを持ってきてくれてありがとう!



生きもの、大好き☆



なにかいるかな~



カメさん、かわいい!



当番活動

うさちゃん、きれいにするからね



ごはんどうぞ!



ザリガニさ~ん寝てるの?



みつばち農園へのお散歩

やぎさん、よしよし